

平成 24 年度 文化庁委託事業
諸外国の文化政策に関する調査研究
(平成 28 年度一部改訂)

諸外国の文化予算に関する調査 報告書

平成28年7月

一般社団法人 芸術と創造
Platform for Arts and Creativity

第1章 本調査研究の概要	5
第2章 各国の文化予算の比較	7
2-1. 各国の文化予算額	8
2-2. 各国の文化予算額の推移	9
第3章 イギリスの文化予算	13
3-1. 政府の全体像	14
3-2. 文化予算の概要	16
1) 文化・メディア・スポーツ省	16
2) アーツ・カウンシル	19
第4章 アメリカの文化予算	23
4-1. 政府の全体像	24
4-2. 文化予算の概要	25
1) 全米芸術基金	25
2) その他の文化組織	27
第5章 ドイツの文化予算	29
5-1. 政府の全体像	30
5-2. 文化予算の概要	31
第6章 フランスの文化予算	33
6-1. 政府の全体像	34
6-2. 文化予算の概要	35
第7章 中国の文化予算	37
7-1. 政府の全体像	38
7-2. 文化予算の概要	39
第8章 韓国の文化予算	41
8-1. 政府の全体像	42
8-2. 文化予算の概要	43
1) 文化体育観光部	43
2) 文化財庁	44

第1章 本調査研究の概要

○背景と目的

文化庁では、平成24年度に海外文化振興施策の現状について基礎的な情報を収集し、わが国の今後の施策の立案および充実に資することを目的として「諸外国の文化政策に関する調査研究」を行った。また、平成26年度には「諸外国の文化予算に関する調査」を行い、文化関連組織や文化予算について当時の最新の状況に更新を行った。本調査は文化関連組織や文化予算について平成28年度の状況について整理を行ったものである。

○調査対象国・調査項目

イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、中国、韓国の6ヶ国を対象として、主に文化担当組織の予算額とその内訳の概要、推移、政府予算に占める割合について調査を行った。

○調査手法

基本的には各国の政府のWebサイトで公開している情報を基に作成した。

文化予算の算出においては、平成26年度「諸外国の文化予算に関する調査」との一貫性を重視し、同じ情報源や定義を用いた。

○本報告書における表記

金額での表記において、各国の通貨を日本円に換算する際には次のレートを採用した。

・USドル	:109.49円	・ユーロ	:123.42円
・ポンド	:158.55円	・ウォン	:0.0927円
・元	:16.77円		

※2016年6月1日時点の為替レートで計算

出所) 財務省「関税定率法第4条の7に規定する財務省令で定める外国為替相場」を基に(一社)芸術と創造が作成

また、各金額については単位をあわせるために四捨五入をして表記している。また、合計額については、各金額の四捨五入前の額を足し上げた後に四捨五入しているため、四捨五入後の各金額の合計額と異なる場合がある。

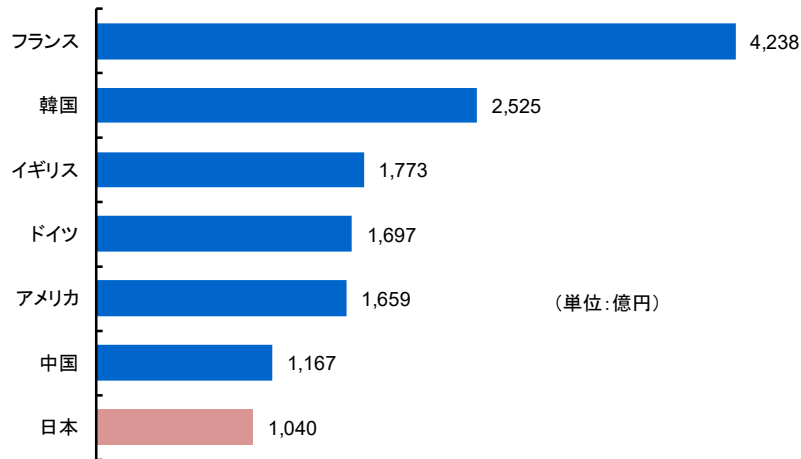
第2章 各国の文化予算の比較

2-1. 各国の文化予算額

本調査対象国の2016年度の文化予算額を示したものが図表・1である。また、各国の国家予算に占める文化予算額の割合を示したものが図表・2である。

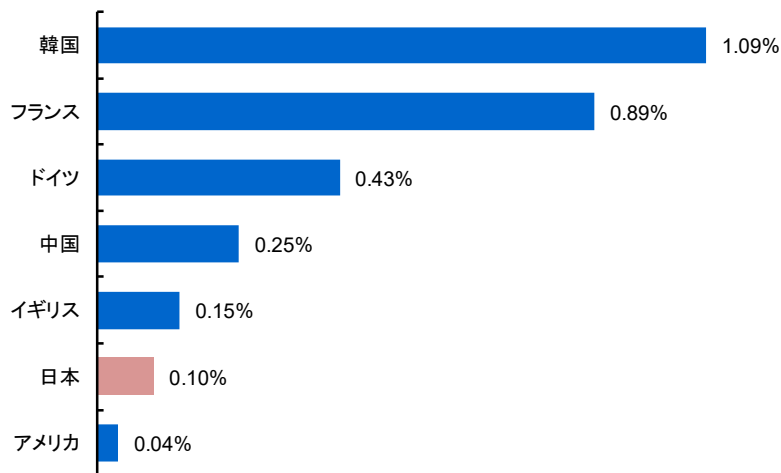
日本の文化予算額は7カ国中最も少なく、文化予算が国家予算に占める割合は下から2番目に位置していることがわかる。

図表・1 各国の文化予算額の比較 (2016年度)¹²



出所) 各種公開資料より (一社) 芸術と創造作成

図表・2 各国の文化予算が国家予算に占める割合の比較 (2016年度)³



出所) 各種公開資料より (一社) 芸術と創造作成

¹ イギリスのみ 2015 年度の予算。

² 地方政府も含めた予算については、平成 24 年度「諸外国の文化政策に関する調査研究」に参考値として掲載しているため、同調査を参照のこと。

³ イギリスのみ 2015 年度の予算。

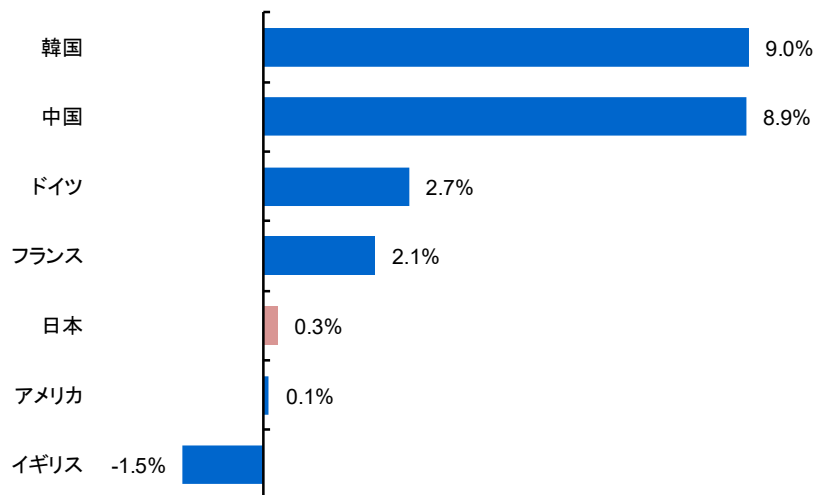
図表・3 各国の文化予算額・割合・定義

国名	予算額 (億円)	国家予算額 に占める 割合 (%)	定義
イギリス	1,773	0.15%	文化・メディア・スポーツ省予算より、観光およびスポーツ予算を除いたもの
アメリカ	1,659	0.04%	スミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、全米芸術基金 (NEA)、ナショナル・ギャラリー、ジョン・F・ケネディ・センターの予算の合計
ドイツ	1,697	0.43%	文化・メディア庁の予算
フランス	4,238	0.89%	文化・コミュニケーション省の予算
中国	1,167	0.25%	文化部の予算
韓国	2,525	1.09%	文化体育観光部の一般予算と文化財庁の予算の合計
日本	1,040	0.10%	文化庁の予算

出所) 各種公開資料より (一社) 芸術と創造作成

2-2. 各国の文化予算額の推移

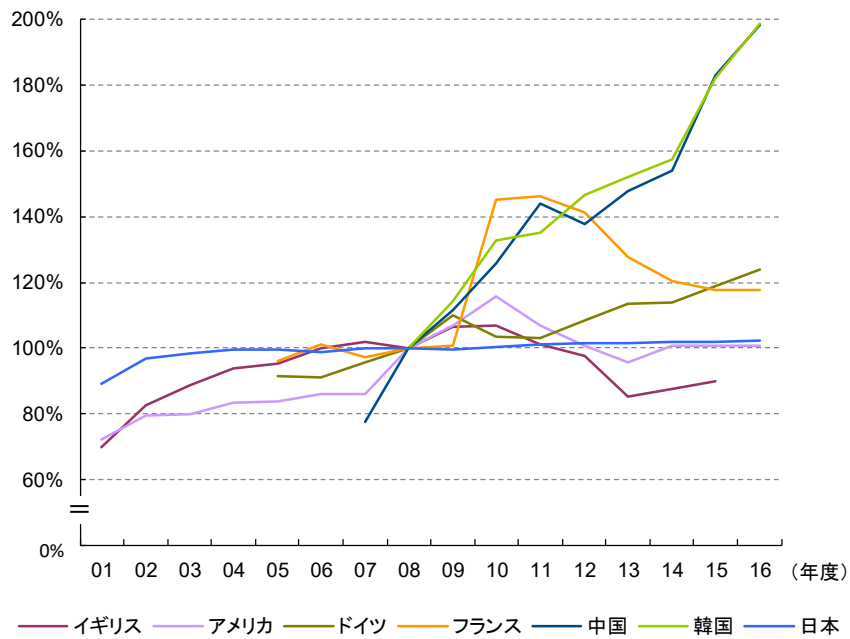
各国の2008~2016年度までの文化予算の変化率を示したものが図表・4である。近年、日本の文化予算は微増傾向であったが、韓国や中国ではそれ以上に大きな増加傾向にあったことがわかる。

図表・4 各国の文化予算額の年変化率 (2008~2016年度の過去8年間)⁴

出所) 各種公開資料より (一社) 芸術と創造作成

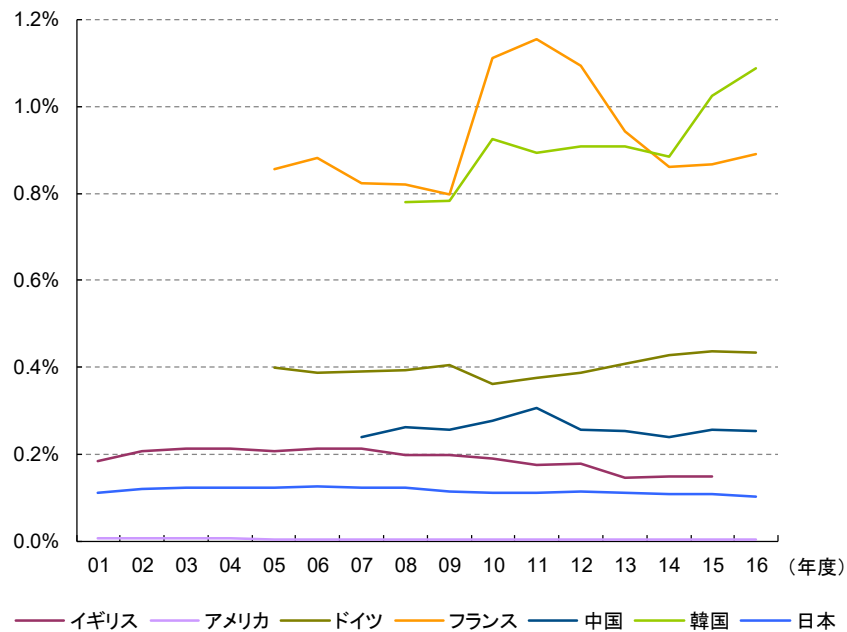
⁴ イギリスのみ2008~2015年度の変化率としている。アメリカはNEA単独の値である。また、フランスでは2010年度から担当省庁の職務範囲が拡大し、中国も2015年度から予算の区分を変更しているため純粋には比較できないことに留意されたい。

図表・5 各国の文化予算額の推移（2008年度を100%とした際の推移）⁵



出所) 各種公開資料より (一社) 芸術と創造作成

図表・6 各国の文化予算額が国家予算全体に占める割合の推移



出所) 各種公開資料より (一社) 芸術と創造作成

⁵ アメリカはNEA 単独の値である。また、フランスでは2010年度から担当省庁の職務範囲が拡大し、中国も2015年度から予算の区分を変更しているため純粋には比較できないことに留意されたい。

図表・7 各国の文化予算額と国家予算全体に占める割合の推移

	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
イギリス (百万ポンド)	871 0.18%	1,029 0.21%	1,103 0.21%	1,166 0.21%	1,186 0.21%	1,243 0.21%	1,267 0.21%	1,242 0.20%
アメリカ (百万ドル)	105 0.006%	115 0.006%	116 0.005%	121 0.005%	121 0.005%	124 0.005%	125 0.005%	145 0.005%
ドイツ (百万ユーロ)	- -	- -	- -	- -	1,018 0.40%	1,011 0.39%	1,066 0.39%	1,111 0.39%
フランス (百万ユーロ)	- -	- -	- -	- -	2,805 0.85%	2,947 0.88%	2,839 0.82%	2,915 0.82%
中国 (百万元)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2,723 0.24%	3,513 0.26%
韓国 (十億ウォン)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1,370 0.78%
日本 (億円)	909 0.11%	985 0.12%	1,003 0.12%	1,016 0.12%	1,016 0.12%	1,006 0.13%	1,017 0.12%	1,018 0.12%

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
イギリス (百万ポンド)	1,325 0.20%	1,330 0.19%	1,255 0.18%	1,212 0.18%	1,061 0.15%	1,091 0.15%	1,118 0.15%	- -
アメリカ (百万ドル)	155 0.004%	168 0.005%	155 0.004%	146 0.004%	138 0.004%	146 0.004%	146 0.004%	148 0.004%
ドイツ (百万ユーロ)	1,225 0.40%	1,150 0.36%	1,146 0.37%	1,204 0.39%	1,261 0.41%	1,267 0.43%	1,321 0.44%	1,375 0.43%
フランス (百万ユーロ)	2,941 0.80%	4,227 1.11%	4,261 1.16%	4,121 1.09%	3,724 0.94%	3,515 0.86%	3,428 0.87%	3,434 0.89%
中国 (百万元)	3,923 0.26%	4,421 0.28%	5,048 0.31%	4,835 0.26%	5,194 0.25%	5,402 0.24%	6,416 0.26%	6,956 0.25%
韓国 (十億ウォン)	1,567 0.78%	1,821 0.92%	1,853 0.89%	2,006 0.91%	2,082 0.91%	2,158 0.89%	2,497 1.02%	2,724 1.09%
日本 (億円)	1,015 0.11%	1,020 0.11%	1,031 0.11%	1,032 0.11%	1,033 0.11%	1,036 0.11%	1,038 0.11%	1,040 0.10%

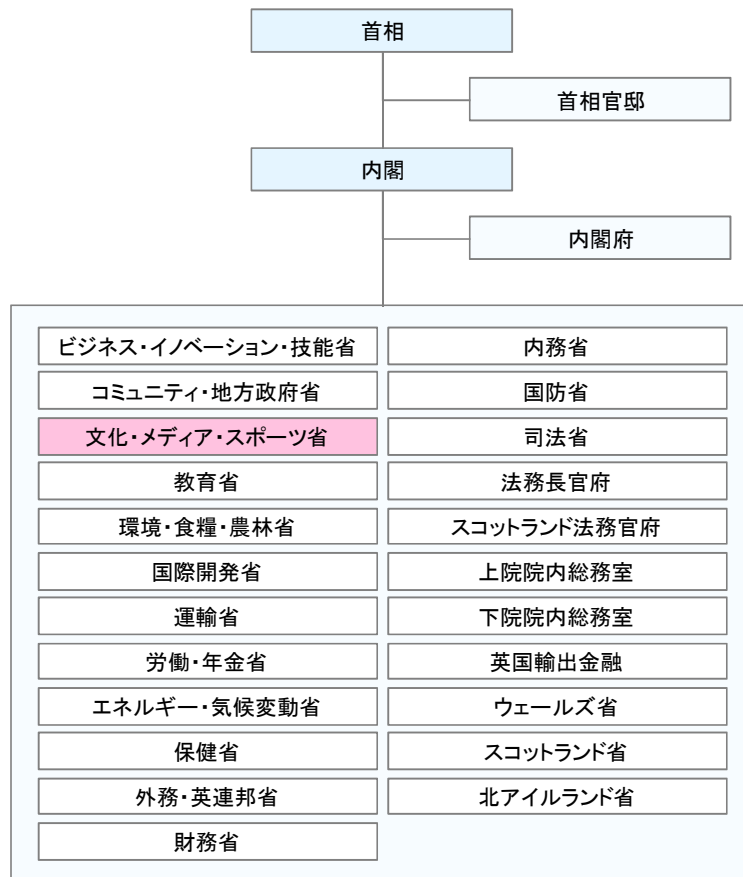
第3章 イギリスの文化予算

3-1. 政府の全体像

イギリス政府には、24 の閣内大臣が所管する省庁（Ministerial departments）と 22 の閣内大臣が所管しない省庁（Non-ministerial departments）、371 の政府機関（Agencies & other public bodies）が存在する。

文化を担当している文化・メディア・スポーツ省（Department for Culture, Media & Sport : DCMS）は閣内大臣が所管する省庁の 1 つとして位置付けられている。

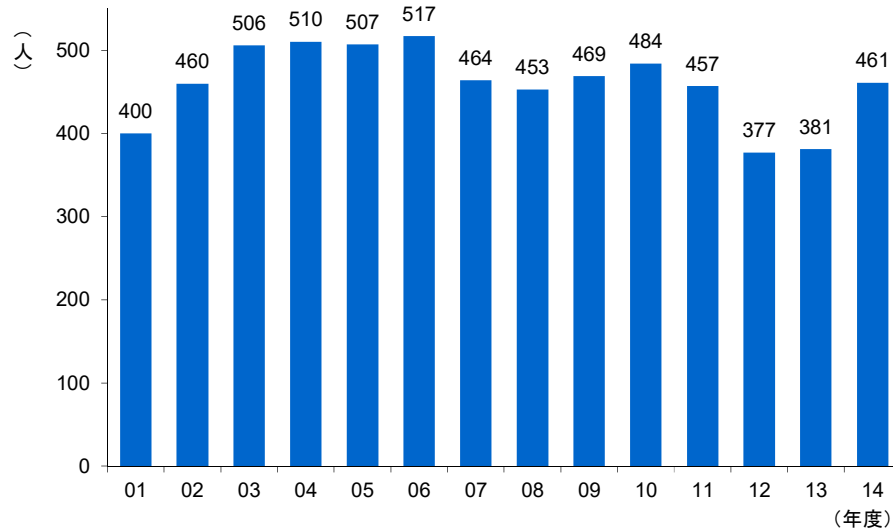
図表・8 イギリス政府の組織図（閣内大臣が所管する省庁のみ）



出所) イギリス政府 Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

2015年3月時点のDCMSの人員数は461人である。2007年3月には517人が在籍していたが、2010年5月に保守党・自由民主党連立政権が成立した後はコスト削減の圧力を受け、人数が減少している。

図表・9 文化・メディア・スポーツ省（DCMS）の人員数の推移（※正規職員のみ）

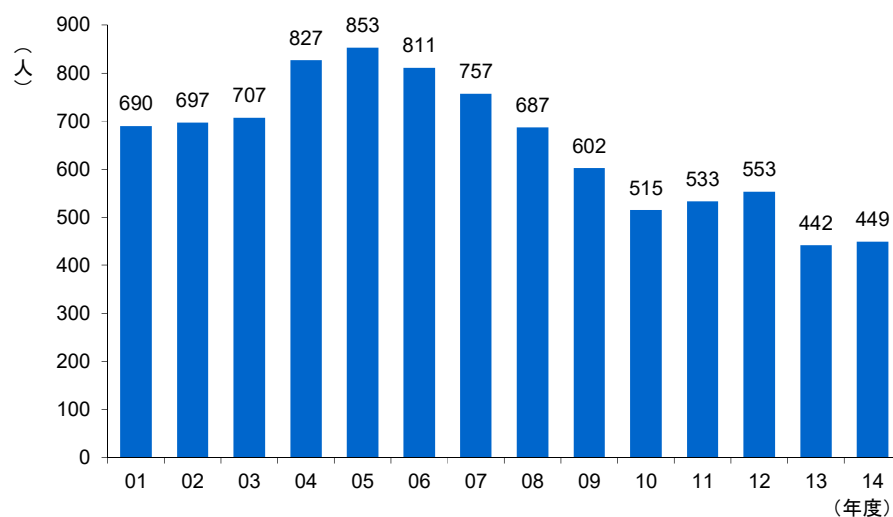


出所) 2001~2005年度はDCMS「Annual Report 2007」、2006~2011年度はDCMS「Annual Report and Accounts 2011-12」、2012年度はDCMS「Annual Report and Accounts 2013-14」、2013~2014年度はDCMS「Annual Report and Accounts 2014-15」を基に（一社）芸術と創造作成

DCMSの関連団体・機関のなかでアーツ・カウンシルは文化政策に関して最も重要な役割を担っている。予算面においても関連団体・機関の中で最大である。

アーツ・カウンシル・イングランドでは、2005年度の853人をピークとしてその後は大きく人員数が減少し、2014年度は449人となっている。

図表・10 アーツ・カウンシル・イングランドの人員数の推移^{6,7}



出所) 各年度のアーツ・カウンシル・イングランド「Annual review」を基に（一社）芸術と創造作成

⁶ 「Grant-in-Aid accounts」と「Lottery distribution accounts」の合計数。

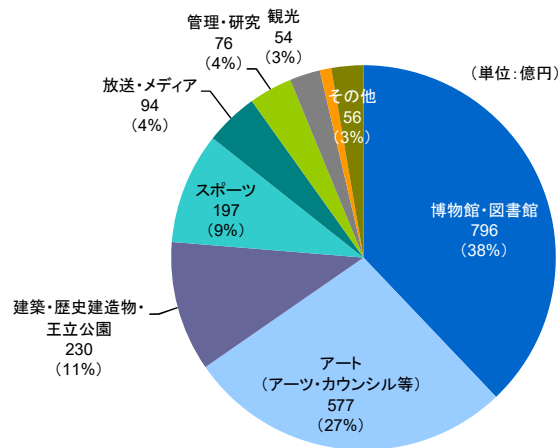
⁷ 2006~2014年度は臨時人員数（Agency Staff）を除いている（2001~2005年度の臨時人員数は不明）。

3-2. 文化予算の概要

1)文化・メディア・スポーツ省

2015年度のDCMSの予算は£1,325百万（約2,101億円）である。内訳のうち最も大きな区分は「博物館・図書館」であり796億円（38%）が配分されている。

図表・11 文化・メディア・スポーツ省（DCMS）の予算の内訳（2015年度）⁸



	£百万	億円	割合
博物館・図書館	502	796	38%
アート (アーツ・カウンシル等)	364	577	27%
建築・歴史建造物・王立公園	145	230	11%
スポーツ	124	197	9%
放送・メディア	60	94	4%
管理・研究	48	76	4%
観光	34	54	3%
オリンピック関連	13	21	1%
その他	35	56	3%
合計	1,325	2,101	100%
うち文化関連予算	1,118	1,773	84%

出所) DCMS 「Annual Report and Accounts 2014-2015」を基に (一社) 芸術と創造作成

⁸ DCMSの予算は「Resource DEL (Departmental Expenditure Limit)」、「Resource AME (Annually Managed Expenditure)」、「Capital DEL (Departmental Expenditure Limit)」、「Capital AME ((Annually Managed Expenditure))」の4つの区分に分かれているが、本調査では「Resource DEL (Departmental Expenditure Limit)」のみを対象としている。

これらの費目のうち、文化予算を「博物館・図書館」、「アート（アーツ・カウンシル等）」、「建築・歴史的建造物・王立公園」、「放送・メディア」、「管理・研究」の合計と定義すると、2015年度の文化予算は£1,118百万（1,773億円）となる。

これらの数値を基にすると、政府予算に占める文化予算の比率は0.15%となる。

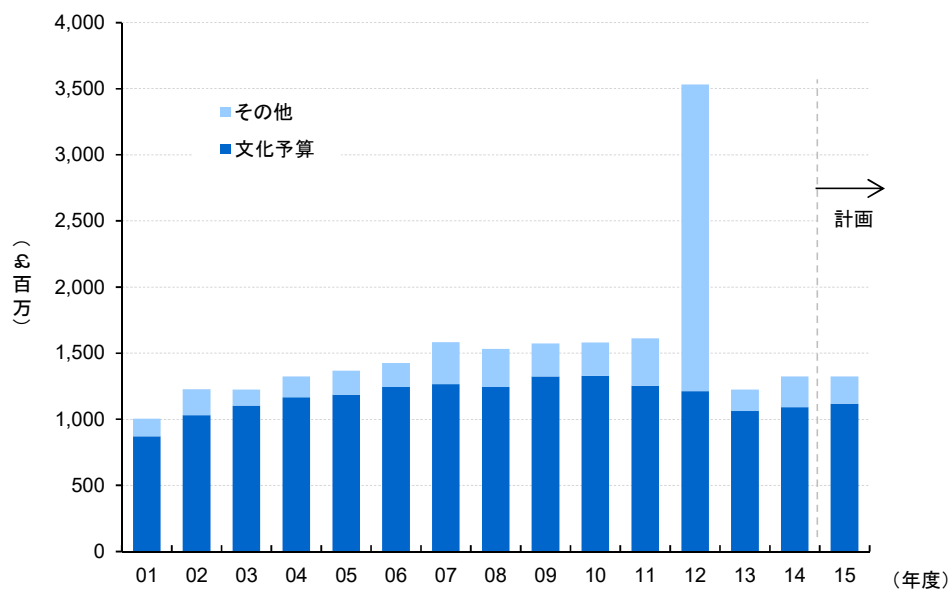
図表・12 各予算が政府予算に占める割合（2015年度）

		£百万	億円
各予算額	政府予算	753,900	1,195,308
	DCMS 予算	1,325	2,101
	文化予算	1,118	1,773
文化予算が政府予算に占める割合		0.15%	

出所) 財務省「Budget2016」、DCMS「Annual Report and Accounts For the year ended 31 March 2015」を基に（一社）芸術と創造作成

また、DCMSの予算の推移をみると、オリンピックが実施された2012年度は予算が例年の倍以上となっている。

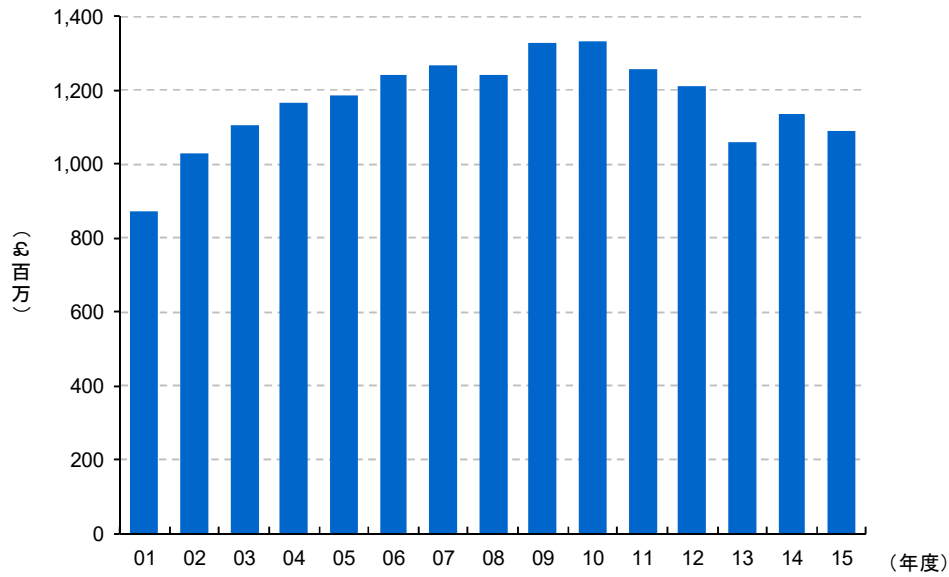
図表・13 文化・メディア・スポーツ省（DCMS）の予算の推移⁹



出所) 2001~2004年度の額はDCMS「Department for Culture Media and Sport Annual Report 2007」を基に、2005~2006年度の額はDCMS「Annual Report and Accounts 2010-11」を基に、2007~2015年度の額はDCMS「Annual Report and Accounts 2013-2014」を基に（一社）芸術と創造作成

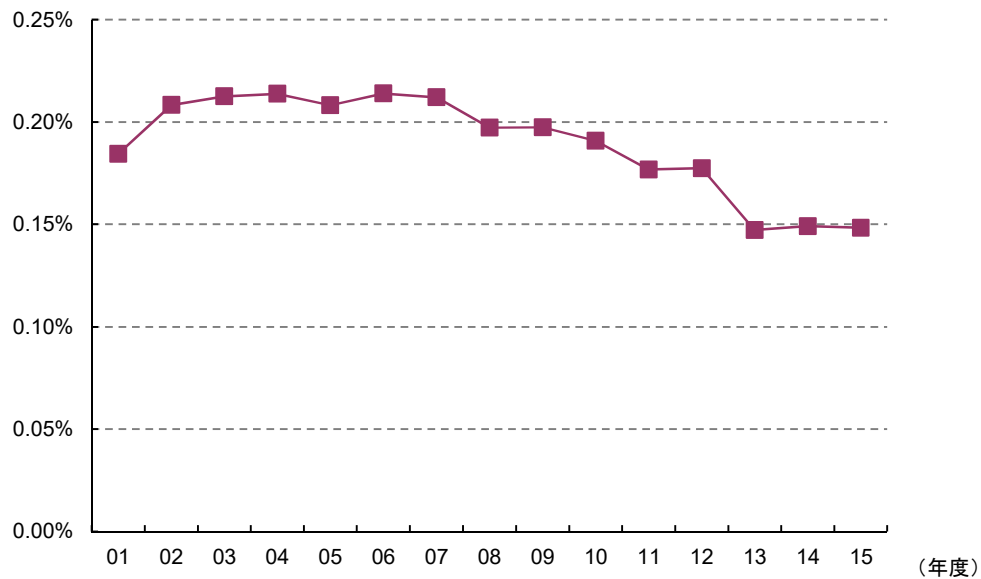
⁹ 2001~2013年度までは実績額、2014~2015年度は予算額である。

図表・14 イギリスの文化予算の推移¹⁰



出所) 2001~2004 年度の額は DCMS 「Department for Culture Media and Sport Annual Report 2007」を基に、2005~2006 年度の額は DCMS 「Annual Report and Accounts 2010-11」を基に、2007~2015 年度の額は DCMS 「Annual Report and Accounts 2014-2015」を基に (一社) 芸術と創造作成

図表・15 イギリスの文化予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 文化予算の2001~2004 年度の額は DCMS 「Department for Culture Media and Sport Annual Report 2007」を基に、2005~2006 年度の額は DCMS 「Annual Report and Accounts 2010-11」を基に、2007~2015 年度の額は DCMS 「Annual Report and Accounts 2014-2015」を基に、政府予算の2001~2008 年度の額は財務省 「Budget2010」を基に、2009 年度以降の額は財務省の各年度の「Budget」を基に (一社) 芸術と創造作成

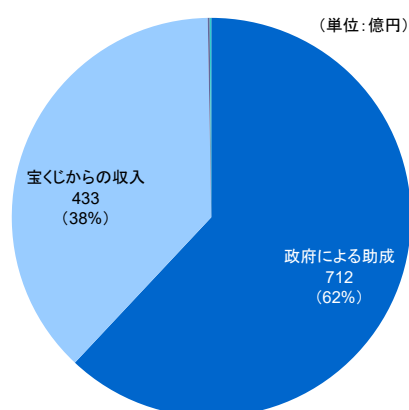
¹⁰ 2001~2014 年度までは実績額、2015 年度は予算額である。

2)アーツ・カウンシル

イギリスに存在する4つのアーツ・カウンシルのうちアーツ・カウンシル・イングランドの支出額は突出して大きい¹¹。

アーツ・カウンシル・イングランドでは、2014年度の収入£695百万（1,270億円）のうち、62%は政府による助成から、38%は国営宝くじから得ている。

図表・16 アーツ・カウンシル・イングランドの収入（2014年度）



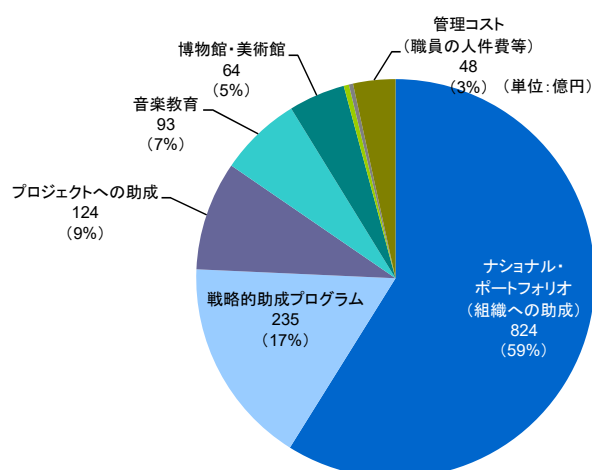
	£百万	億円	割合
政府による助成	449	712	62%
宝くじからの収入	273	433	38%
分配資金	1	2	0.2%
その他の収入	1	2	0.1%
合計	725	1,149	100%

出所) アーツ・カウンシル・イングランド「Arts Council England Grant-in-Aid and Lottery distribution annual report and accounts 2014/15」を基に(一社)芸術と創造作成

¹¹ 各アーツ・カウンシルの予算規模については、平成24年度「諸外国の文化政策に関する調査研究」に掲載しているため、同調査を参照のこと。

2014年度のアーツ・カウンシル・イングランドの支出のうち、59%（824億円）は「ナショナル・ポートフォリオ」に配分されている。「ナショナル・ポートフォリオ」ではイングランド全土の663の組織を対象として継続的な助成を行っている。「戦略的助成プログラム」には17%（235億円）が配分されており、アーツ・カウンシル・イングランドのミッションを達成するために重要な特定の分野を都度設定し助成を行っている。「プロジェクトへの助成」には9%（124億円）が配分されており、組織が行う特定のプロジェクトや作家などの個人への助成を行っている¹²。

図表・17 アーツ・カウンシル・イングランドの支出（2014年度）¹³



	£ 百万	億円	割合
ナショナル・ポートフォリオ (組織への助成)	519	824	59%
戦略的助成プログラム	149	235	17%
プロジェクトへの助成	78	124	9%
音楽教育	59	93	7%
博物館・美術館	40	64	5%
文化教育	4	6	0.4%
図書館	3	5	0.4%
管理コスト (職員の人件費等)	30	48	3.4%
合計	882	1,399	100%

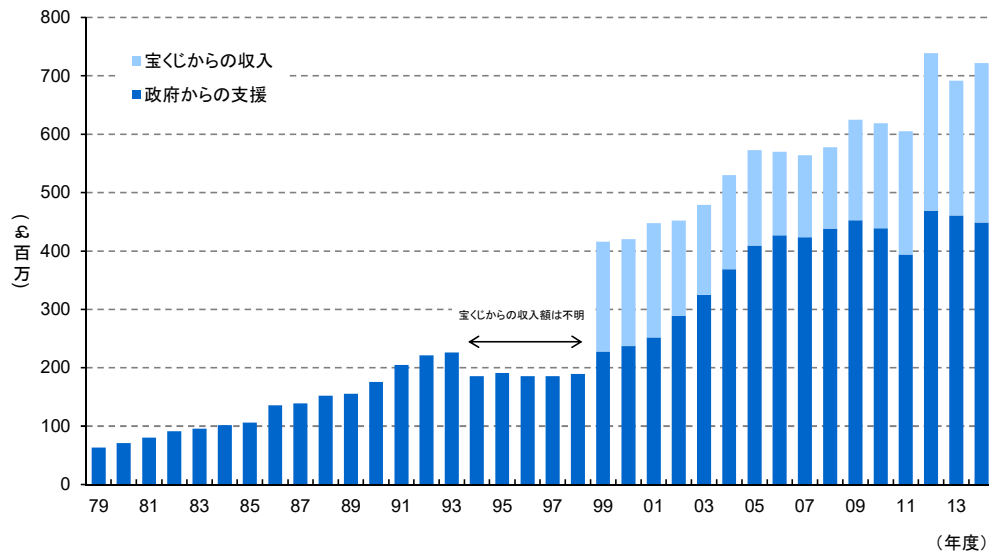
出所) アーツ・カウンシル・イングランド「Arts Council England Grant-in-Aid and Lottery distribution annual report and accounts 2014/15」を基に (一社) 芸術と創造作成

¹² 各助成プログラムの概要については、平成24年度「諸外国の文化政策に関する調査研究」を参照のこと。

¹³ 他の組織と共同で実施しているプログラムも含まれるため、アーツ・カウンシル・イングランドの実際の支出（643百万ポンド）よりも支出額が多くなっている。

アーツ・カウンシル・イングランドの予算は、2009年まで長いあいだ拡大傾向にあった。特に、1994年に国営宝くじが復活した後は急増している。保守党・自民党の連立政権下（2010年～）になってから予算は減少したものの、オリンピックが開催された2012年には大幅に増加している。

図表・18 アーツ・カウンシル・イングランドの予算の推移^{14・15・16}



出所) 1979~1998年度の値は菅伸子「英国公的機関の芸術援助のあり方」(地域創造 Spring2000 vol.8)、1999年度以降はアーツ・カウンシル・イングランドの各年度の「Annual review」を基に(一社)芸術と創造作成

¹⁴ 1994~1998年度のあいだも宝くじからの収入が存在すると思われるが、情報の取得ができなかった。

¹⁵ 「宝くじからの収入 (Share of the National Lottery Distribution Fund)」は「Lottery distribution accounts」の「Share of proceeds from the National Lottery Distribution Fund」の額を、「政府からの支援 (Grant-in-aid income)」は「Grant-in-aid accounts」の「Grant-in-Aid income」の額を採用している。

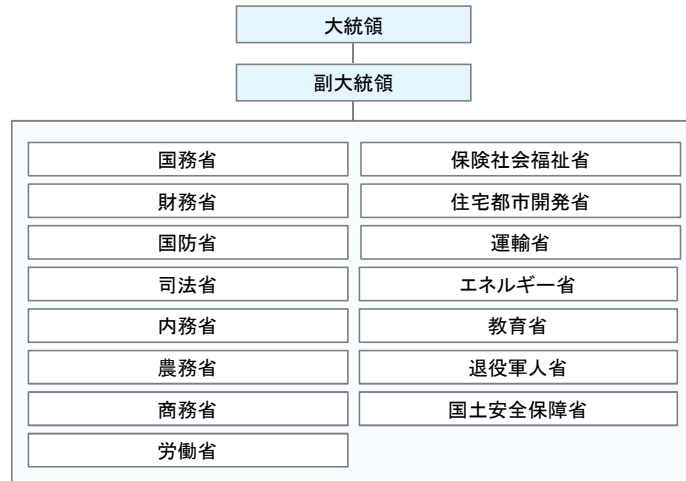
¹⁶ 宝くじからの収入 (Share of the National Lottery Distribution Fund)、政府からの支援 (Grant-in-aid income) 以外にも収入が存在するが、額が小さいため割愛している。

第4章 アメリカの文化予算

4-1. 政府の全体像

アメリカ連邦政府には大統領のもと様々な省庁が存在するが、文化を直接的に担当している省庁は存在しない。

図表・19 アメリカ連邦政府の組織図



出所) アメリカ政府 Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

アメリカでは文化芸術の分野を所轄する部門は存在しないが、連邦政府の独立機関として1965年に連邦議会によって設立された全米芸術基金 (National Endowment for the Arts: NEA) が存在している。NEA では159人 (プログラム担当60人、管理部門99人) の職員が従事している¹⁷。

また、そのほかに、連邦政府は機関を支援しており、文化芸術に係る組織として主にスミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリー、ジョン・F・ケネディ・センターなどが挙げられる。

¹⁷ NEA Web サイトを基に (一社) 芸術と創造算出。

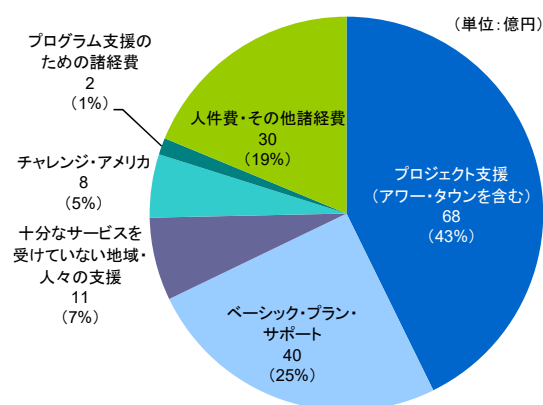
4-2. 文化予算の概要

1) 全米芸術基金

2015年度のNEAの予算は\$146百万（160億円）である。そのうち約8割がプログラムに、約2割がNEAの管理コストに振り分けられている。

プロジェクト支援で対象としているのは、作家による作品制作、パフォーマンスの巡回、芸術教育事業、重要な芸術作品の保管、作品制作や作品鑑賞における新技術の活用などである。チャレンジ・アメリカでは、地理的条件や民族性、経済状態などが障害となり芸術に触れる機会が制限されている人々に対する各種団体の芸術普及活動を支援している。

図表・20 全米芸術基金の予算の内訳（2015年度）



	\$百万	億円	割合
プログラム	117	128	80%
芸術組織に対する直接的な支援	70	77	48%
プロジェクト支援 (アワー・タウンを含む)	62	68	43%
チャレンジ・アメリカ	8	8	5%
州・地域のパートナーシップ	47	51	32%
ベーシック・プラン・サポート	37	40	25%
十分なサービスを受けていない地域・人々の支援	10	11	7%
プログラム支援のための諸経費	2	2	1%
人件費・その他諸経費	27	30	19%
合計	146	160	100%

出所) NEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2016」を基に (一社) 芸術と創造作成

2015年度及び2016年度のNEA予算が政府予算に占める文化予算の比率は0.004%となっている。

図表・21 全米芸術基金の予算が政府予算に占める割合（2015年度）

		\$百万	億円
各予算額	政府予算	3,688,292	4,038,311
	NEA 予算	146	160
政府予算に占める割合		0.004%	

出所) アメリカ合衆国行政管理予算局 (Office of management and Budget) 「Fiscal year 2017Historical tables Budget of the U.S. government」、NEA Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

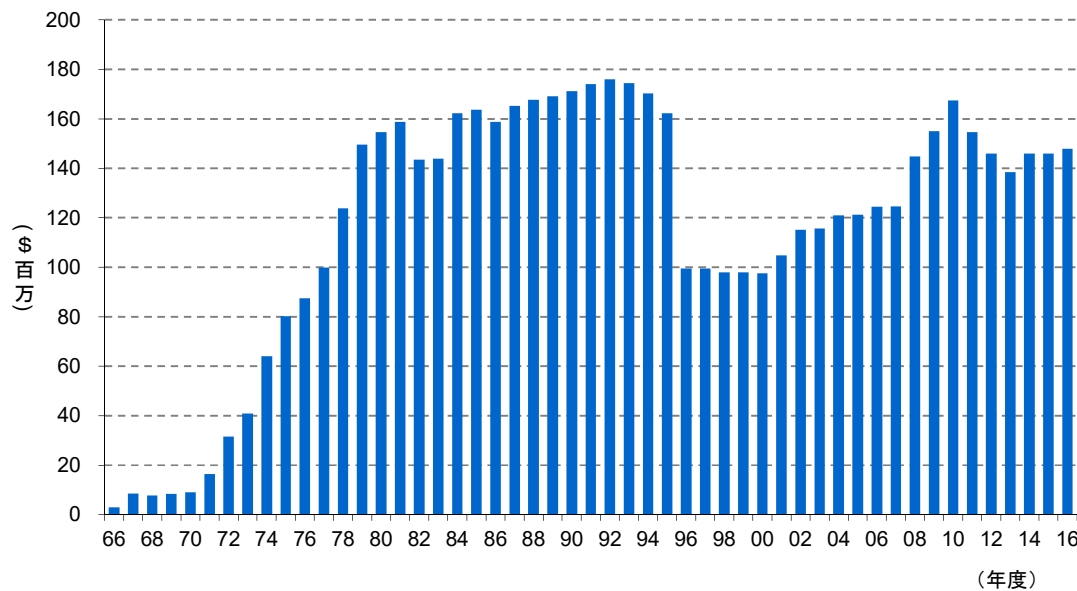
図表・22 全米芸術基金の予算が政府予算に占める割合（2016年度）

		\$百万	億円
各予算額	政府予算	3,951,307	4,326,286
	NEA 予算	148	162
政府予算に占める割合		0.004%	

出所) アメリカ合衆国行政管理予算局 (Office of management and Budget) 「Fiscal year 2017Historical tables Budget of the U.S. government」、NEA Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

NEA の予算は、1966年度の設立から1981年までのあいだ急激に増加してきた。1993年以降は議会でNEAの運営体質の問題点を指摘され予算が大幅に削減された。その後は、再び増加し現在では1980年台の水準に回復している。

図表・23 全米芸術基金の予算の推移¹⁸



出所) NEA Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

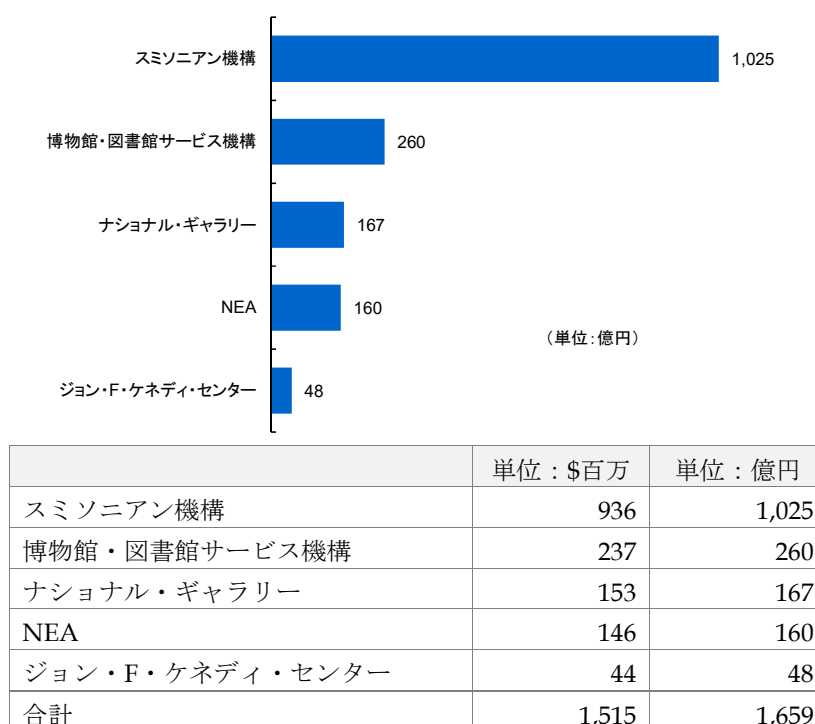
¹⁸ 1976年度は会計年度の変更を伴っているので参考値である。

2)その他の文化組織

連邦政府はNEA以外にもスミソニアン機構や博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリー、ジョン・F・ケネディ・センターなど様々な機関を支援している。

例えば、2016年度における、スミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリーへの支援額はNEAへの支援額を上回っている。また、これら5つの機関への支援額は合計\$1,515百万（1,659億円）にのぼる。

図表・24 連邦政府による主要文化機関への支援額（2016年度）¹⁹



出所) スミソニアン機構は Smithsonian Institution 「Fiscal Year 2016 Budget Justification to Congress」を基に、博物館・図書館サービス機構は Institute of Museum and Library Services の Press Release を基に、ナショナル・ギャラリーは National Gallery of Art 「FY 2015 Congressional Budget Request」を基に、NEA は NEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2016」を基に、ジョン・F・ケネディ・センターは Department of the Treasury Internal Revenue Service 「Form 990」を基に（一社）芸術と創造作成

NEAを含むこれら5組織への支援額が政府予算に占める割合は0.038%となっている。

図表・25 連邦政府による主要文化組織への支援額が政府予算に占める割合（2016年度）

		単位：\$百万	単位：億円
各予算額	政府予算	3,951,307	4,326,286
	主要文化組織への支援額	1,515	1,659
政府予算に占める割合		0.038%	

出所) 出所) アメリカ合衆国行政管理予算局 (Office of management and Budget) 「Fiscal year 2017 Historical tables Budget of the U.S. government」を基に（一社）芸術と創造作成

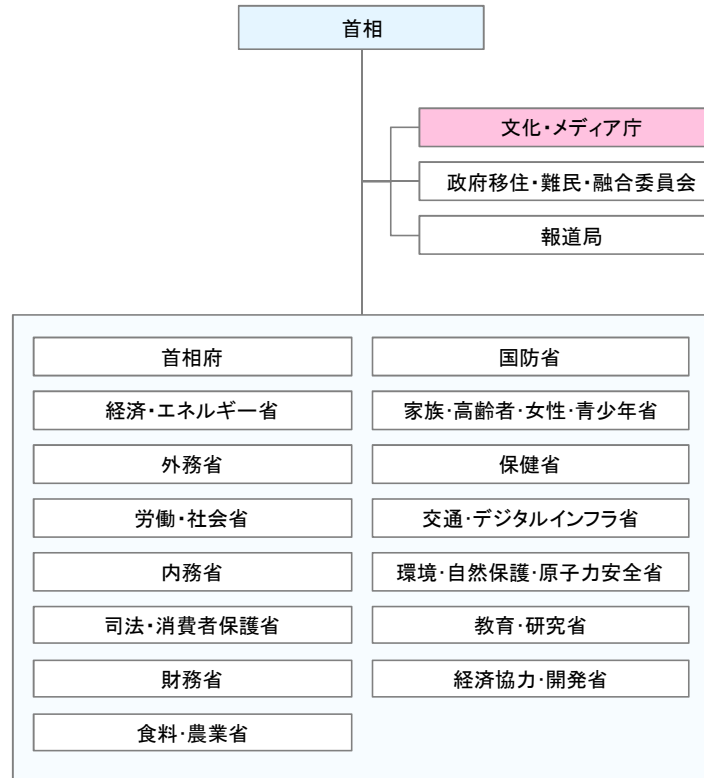
¹⁹ スミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリー、NEA は各機関が公開している 2015 年度の予算額を基に作成した。ジョン・F・ケネディ・センターについては類似の資料が存在しないため、2013 年度の財務省資料を基に作成している。

第5章 ドイツの文化予算

5-1. 政府の全体像

ドイツ連邦政府のなかでは文化・メディア庁（Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien : BKM）が文化政策を担当している。

図表・26 ドイツ連邦政府の組織図

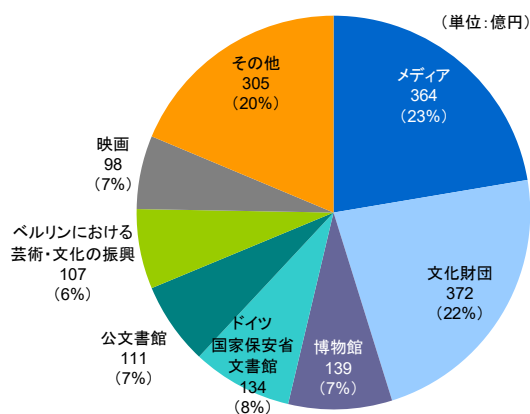


出所) ドイツ政府Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

5-2. 文化予算の概要

2016年度の文化・メディア庁の予算は€1,375百万（1,630億円）である。内訳は、「メディア」に関するものが最も多く（364億円、23%）、次いで「文化財団」の予算も多い（372億円、22%）。

図表・27 文化・メディア庁の予算の内訳（2016年度）



	€百万	億円	割合
メディア	310	364	23%
文化財団	307	372	22%
博物館	103	139	7%
ドイツ国家保安省文書館	105	134	8%
公文書館	95	111	7%
ベルリンにおける芸術・文化の振興	86	107	6%
映画	95	98	7%
その他	273	305	20%
合計	1,375	1,630	100%

出所) 文化・メディア庁「Ausgaben der Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien im Jahr 2015」を基に
(一社) 芸術と創造作成

2016年度における文化・メディア庁予算が政府予算に占める割合は0.43%となっている。

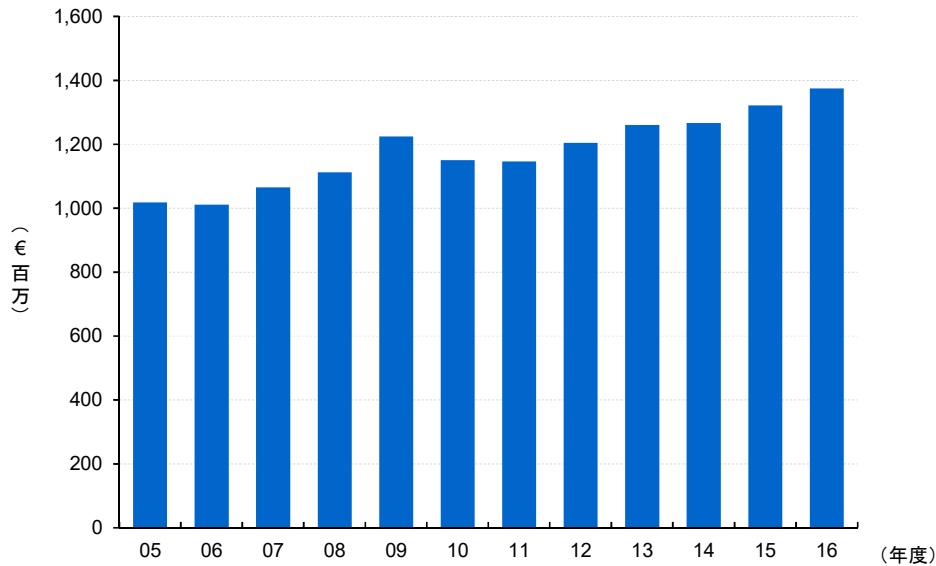
図表・28 文化・メディア庁の予算が政府予算に占める割合（2016年度）

		€百万	億円
各予算額	政府予算	316,900	391,118
	文化・メディア庁予算	1,375	1,697
政府予算に占める割合		0.43%	

出所) 財務省「Overview of federal budgetary and financial data up to and including February 2015」、文化・メディア庁「Ausgaben der Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien im Jahr 2015」を基に (一社) 芸術と創造作成

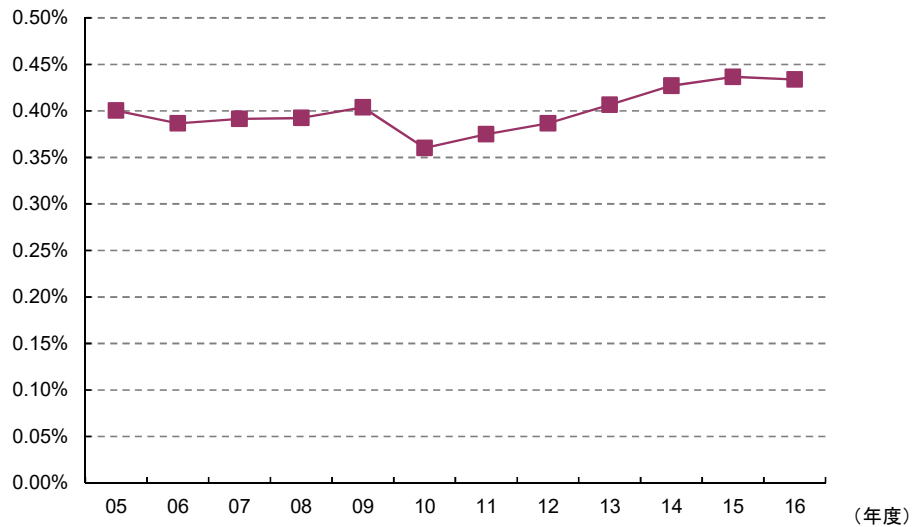
文化・メディア庁の予算は、2009年度まで増加傾向にあり、2009~2011年度のあいだには減少したが、2011年度以降は再度、ゆるやかな増加傾向にある。

図表・29 文化・メディア庁の予算の推移



出所) 1995~2009年度の値は Statistische Amter des Bundes und der Lander 「Kulturfinanzbericht 2012」、2010~2011年度の値は文化庁「文化多様性の保護・促進に関する調査」(平成23年2月)、2012~2016年度の値は文化・メディア庁「Ausgaben des Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien」を基に (一社) 芸術と創造作成

図表・30 文化・メディア庁の予算が政府予算に占める割合の推移



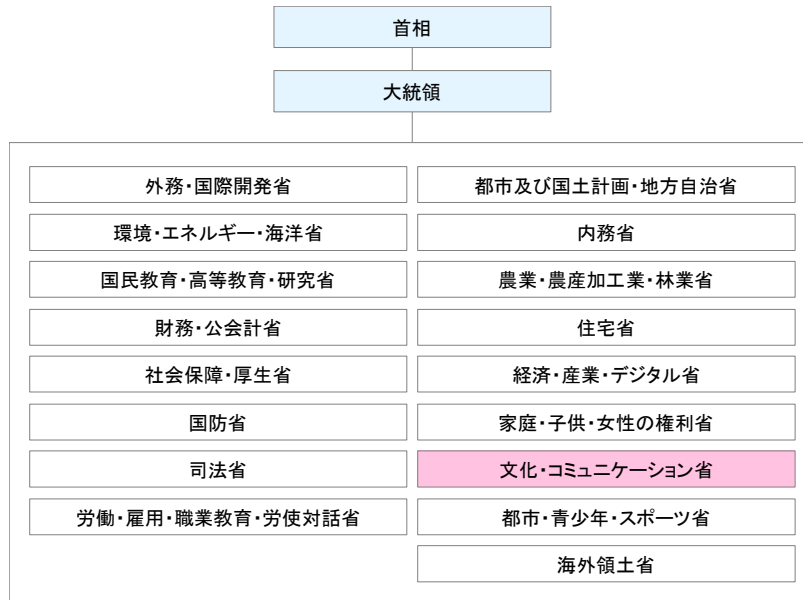
出所) 文化・メディア庁予算の1995~2009年度の値は Statistische Amter des Bundes und der Lander 「Kulturfinanzbericht 2012」、2010~2011年度の値は文化庁「文化多様性の保護・促進に関する調査」(平成23年2月)、2012~2016年度の値は文化・メディア庁「Ausgaben des Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien」を基に、政府予算は各年度の財務省「Federal budget and fiscal policy key figures」を基に (一社) 芸術と創造作成

第6章 フランスの文化予算

6-1. 政府の全体像

フランス政府には 17 の省庁が存在し、文化・コミュニケーション省が文化政策を担当している。

図表・31 フランス政府の組織図

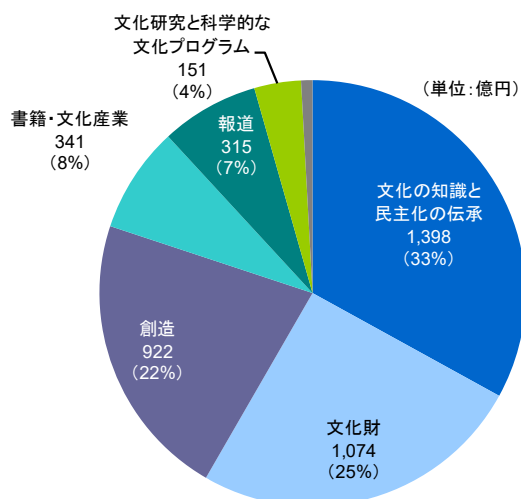


出所) フランス政府Web サイトを基に (一社) 芸術と創造作成

6-2. 文化予算の概要

2016年度の文化・コミュニケーション省の予算は€3,434百万（4,238億円）である。内訳として最も多いのは「文化の知識と民主化の伝承」（€1,133百万、1,398億円）であり、全体の33%を占めている。

図表・32 文化・コミュニケーション省の予算の内訳（2016年度）



	€百万	億円	割合
文化の知識と民主化の伝承	1,133	1,398	33%
文化財	870	1,074	25%
創造	747	922	22%
書籍・文化産業	277	341	8%
報道	255	315	7%
文化研究と科学的な文化プログラム	122	151	4%
映像・ラジオの多様性	29	36	1%
合計	3,434	4,238	100%

出所) 文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2016」を基に（一社）芸術と創造作成

2016年度の文化・コミュニケーション省が政府予算に占める文化予算の比率は0.89%となっている。

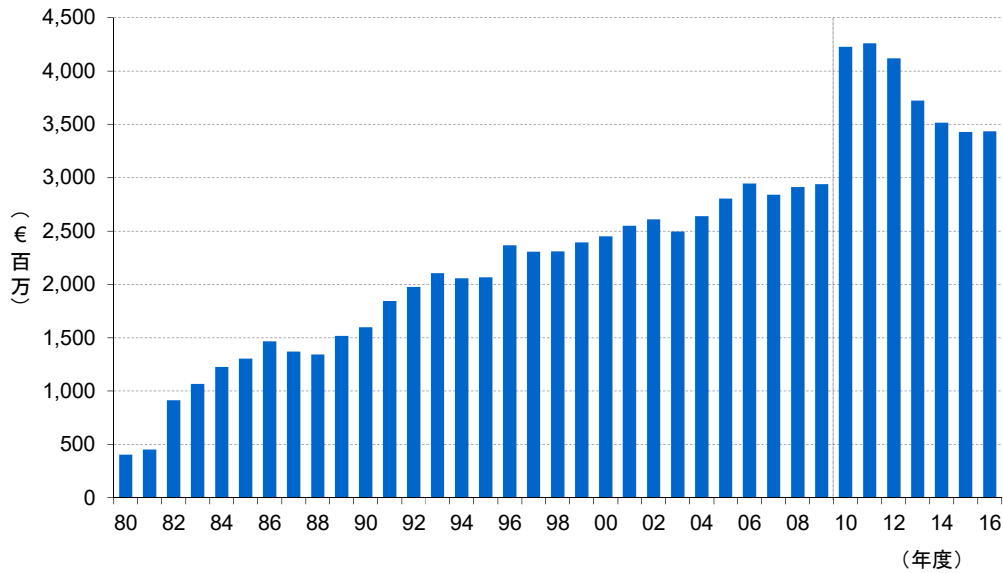
図表・33 文化・コミュニケーション省の予算が政府予算に占める割合（2016年度）

		€百万	億円
各予算額	政府予算	386,130	476,562
	文化・コミュニケーション省予算	3,434	4,238
政府予算に占める割合		0.89%	

出所) 予算委員会 (Commission des finances) 「Projet de loi de finances pour 2016」、文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2016」を基に（一社）芸術と創造作成

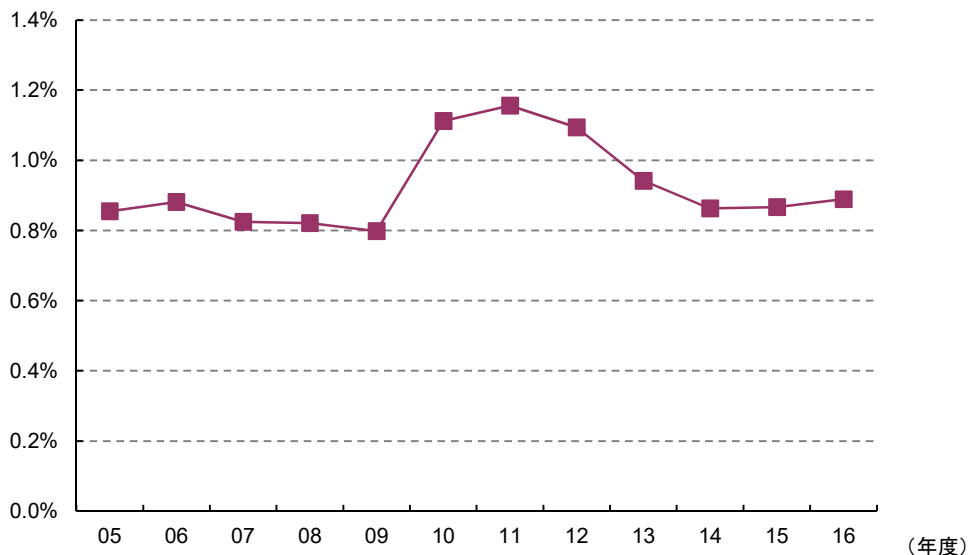
文化・コミュニケーション省の予算は、長いあいだ増加傾向にあり、2010年度からは文化・コミュニケーション省の職務範囲が拡大したため、予算が急増している。しかし、2011年度以降は減少傾向にある。

図表・34 文化・コミュニケーション省の予算の推移



出所) 1980~2012年度の値は文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2013」を基に、2013年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2014」を基に、2014年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2015」を基に、2015~2016年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2016」を基に (一社) 芸術と創造作成

図表・35 文化・コミュニケーション省の予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 1980~2012年度の値は文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2013」を基に、2013年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2014」を基に、2014年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2015」を基に、2015~2016年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2016」を基に、政府予算は各年度の予算委員会 (Commission des finances) 「Projet de loi de finances」を基に (一社) 芸術と創造作成

第7章 中国の文化予算

7-1. 政府の全体像

中華人民共和国では文化行政を中央政府の部門の1つである文化部が担当している。

図表・36 中国政府の組織図

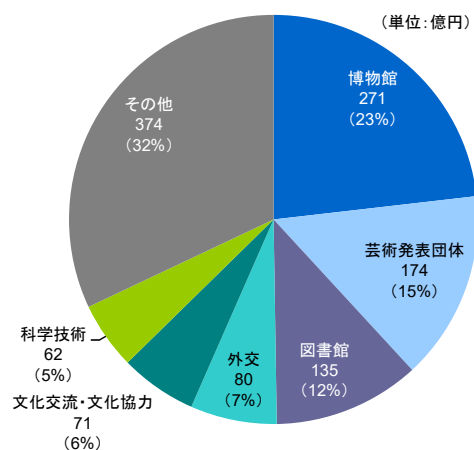


出所) 中華人民共和国中央人民政府Webサイトを基に(一社)芸術と創造作成

7-2. 文化予算の概要

文化部の2016年度の予算は6,956百万元（1,167億円）である。文化・体育・メディアに振り分けられている予算のうち、最も多いのは「博物館」に対するもので1,614百万元（271億円）、次いで多いのが「芸術発表団体」に対するもので1,040百万元（174億円）である。

図表・37 文化部の予算の内訳（2016年度）



	百万元	億円	割合
博物館	1,614	271	23%
芸術発表団体	1,040	174	15%
図書館	807	135	12%
外交	476	80	7%
文化交流・文化協力	421	71	6%
科学技術	370	62	5%
その他	2,229	374	32%
合計	6,956	1,167	100%

出所) 文化部「2016年度部門予算」より (一社) 芸術と創造作成

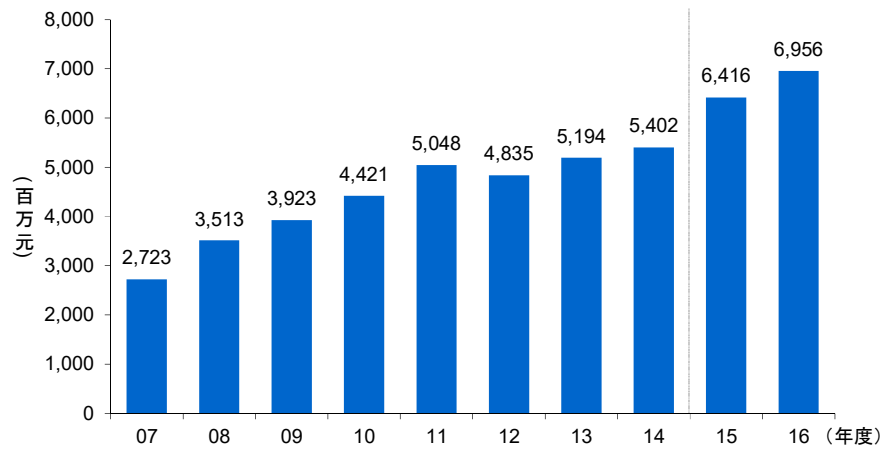
2016年度の文化部が政府予算に占める文化予算の比率は0.25%となっている。

図表・38 文化部の予算が政府予算に占める割合（2015年度）

		百万元	億円
各予算額	政府予算	2,735,500	458,743
	文化部予算	6,956	1,167
政府予算に占める割合		0.25%	

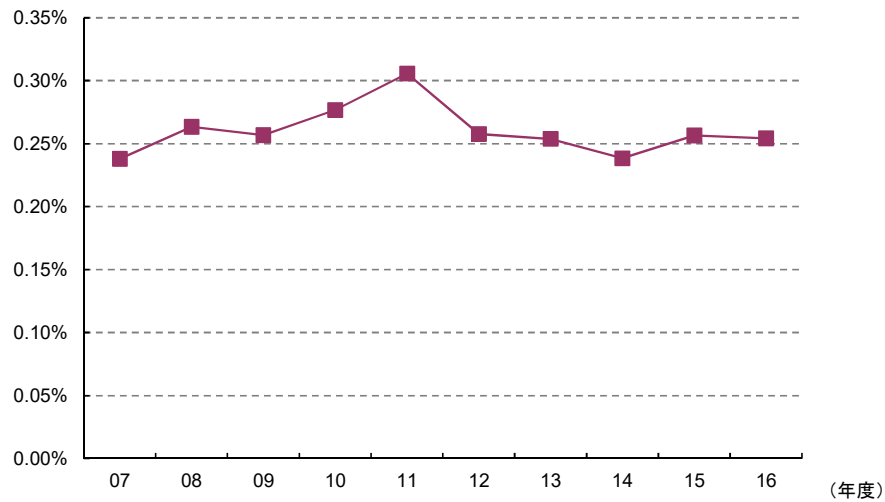
出所) 財政部「2016年中央本級支出予算表」、文化部「2016年度部門予算」より (一社) 芸術と創造作成

図表・39 文化部の予算の推移²⁰



出所) 各年度の文化部「部門予算」を基に (一社) 芸術と創造作成

図表・40 文化部の予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 文化部予算は各年度の文化部「部門予算」を基に、政府予算は各年度の財政部「中央本級支出予算表」を基に (一社) 芸術と創造作成

²⁰ 2015年度から予算の区分を変更しているので2007~2014年度の値と、純粋には比較できないことに留意されたい。

第8章 韓国の文化予算

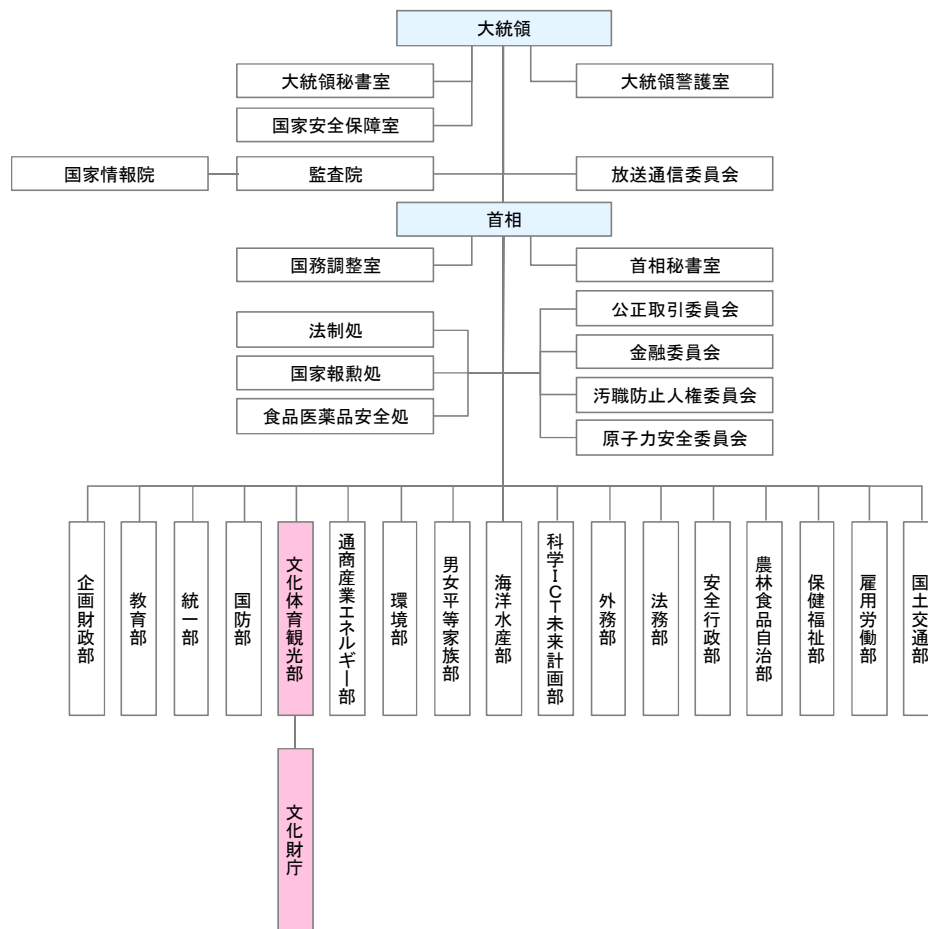
8-1. 政府の全体像

韓国の中央政府において、文化政策を担っているのは「文化体育観光部」である。文化体育観光部は韓国政府の17の部署のうちの一つで、文化、芸術、体育、観光、宗教、メディア、広報など様々な分野の政策を担当している。

また、文化体育観光部の傘下には「文化財庁」があり、文化遺産の保存と活用に係る政策を担当している。

文化体育観光部の本部には667人の職員が従事している²¹。

図表・41 韓国政府の組織図



出所) 韓国大政府Webサイトを基に (一社) 芸術と創造作成

²¹ 文化体育観光部「2015年度 資金運用計画」より。

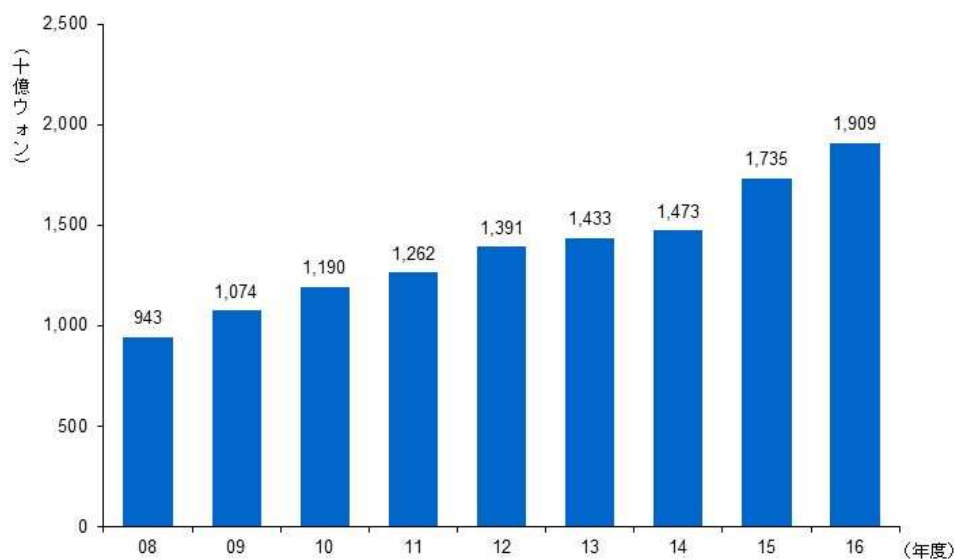
8-2. 文化予算の概要

1)文化体育観光部

文化体育観光部の予算は「スポーツ分野」、「文化芸術分野」、「観光分野」、「コンテンツ分野」、「文化行政一般」の5つの分野から構成されている。

2016年度の文化体育観光部の予算は1兆9,092億ウォン（1,770億円）である。

図表・42 文化体育観光部の予算の推移

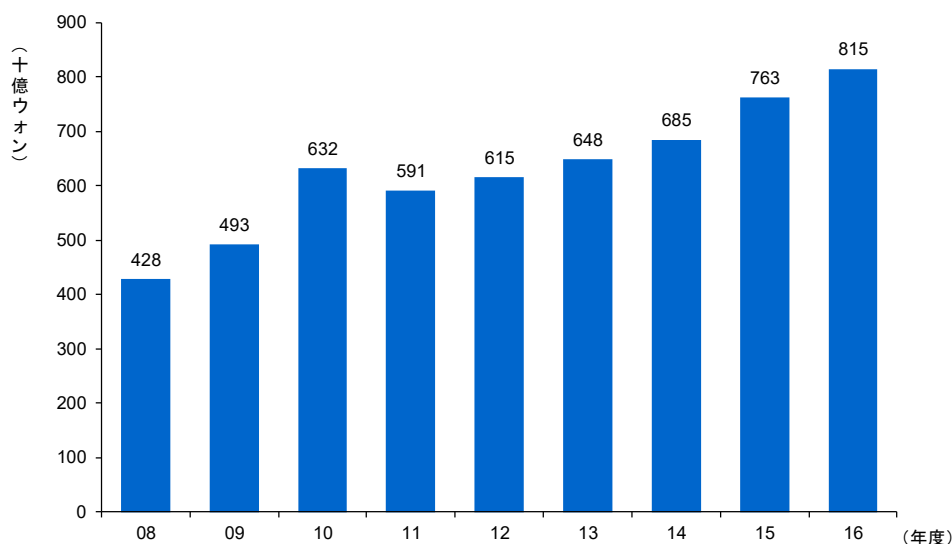


出所) 各年度の文化体育観光部「資金運用計画」を基に (一社) 芸術と創造作成

2)文化財庁

文化財庁の予算は2011年度以降継続して増加しており、2015年度の予算は8,147億ウォン（755億円）となっている。

図表・43 文化財庁の予算の推移



出所) 各年度の文化財庁「資金運用計画」を基に(一社)芸術と創造作成

文化予算を文化体育観光部予算（一般予算）と文化財庁の予算の合計と定義すると、2016年度の文化予算は2兆7,239億ウォン（2,525億円）となる。これらの数値を基にすると、2016年度の政府予算に占める文化予算の比率は1.09%となる²²。

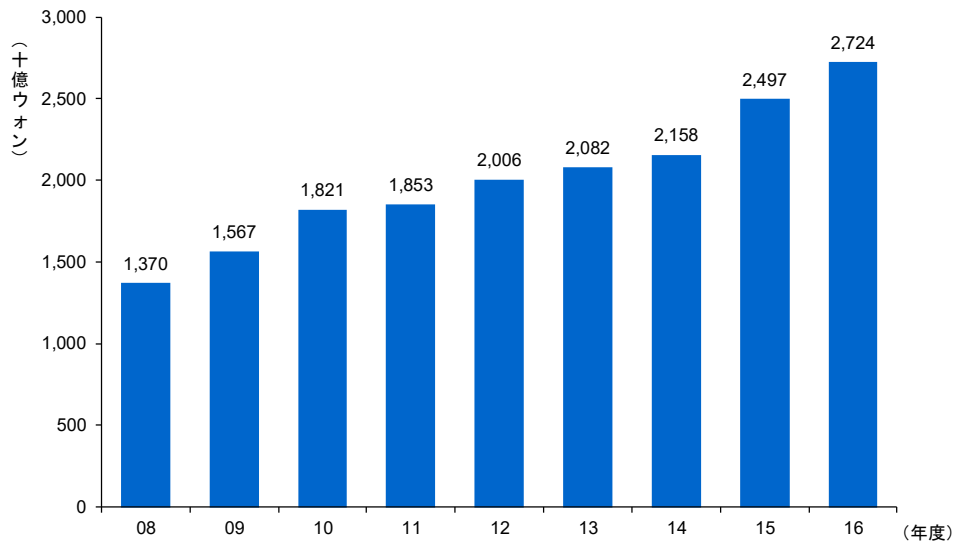
図表・44 韓国の文化予算が政府予算に占める割合

		十億 ウォン	億円
各予算額	政府予算	250,100	231,843
	文化体育観光部予算	1,909	1,770
	文化財庁予算	815	755
	文化予算	2,724	2,525
文化予算が政府予算に占める割合		1.09%	

出所) 企画財政部「2016年予算案」、文化体育観光部「2016年度 資金運用計画」、文化財庁「2016年度 資金運用計画」を基に(一社)芸術と創造作成

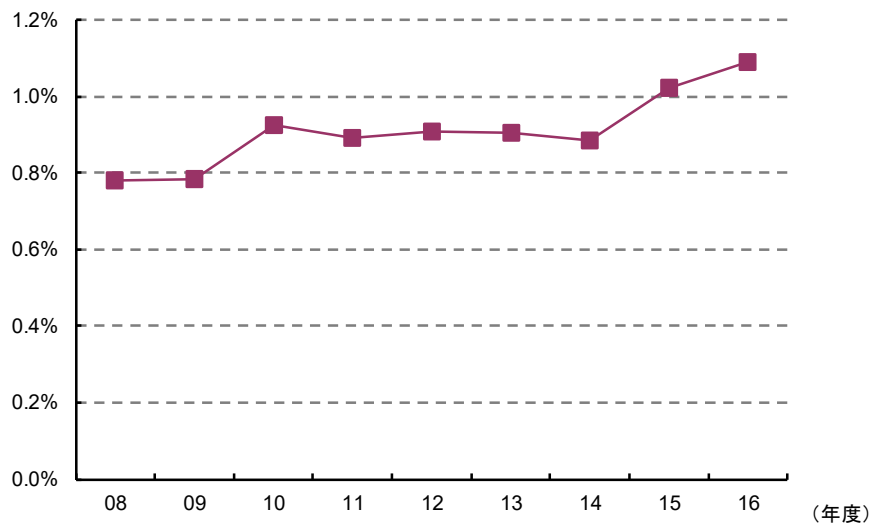
²² 平成24年度「諸外国の文化政策に関する調査研究」、平成26年度「諸外国の文化予算に関する調査」では、韓国の文化予算を文化体育観光部の一般予算における「文化芸術分野」、「文化・観光・一般分野」の予算と文化財庁の予算の合計と定義していたが、2016年度の文化体育観光部「2016年度 資金運用計画」では一般予算の内訳が示されていないため、本調査では文化予算を文化体育観光部予算（一般予算）と文化財庁の予算の合計と定義した。なお、一般予算における観光分野、体育分野は低い割合にとどまり、これらを含み文化予算とすることの影響は小さいと考えられる（2015年度は観光分野、体育分野の予算が文化体育観光部予算に占める割合は2.3%であった）。

図表・45 韓国の文化予算の推移



出所) 各年度の文化体育観光部「資金運用計画」、文化財庁「資金運用計画」を基に (一社) 芸術と創造作成

図表・46 韓国の文化予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 各年度の「文化体育観光部「資金運用計画」、文化財庁「資金運用計画」、企画財政部「2015年予算案」を基に (一社) 芸術と創造作成

平成28年度 文化庁
諸外国の文化予算に関する調査 報告書

平成 28 年 6 月 30 日

■委託元

文化庁長官官房国際課 国際文化交流室
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

■発行

一般社団法人 芸術と創造
〒110-0002 東京都台東区上野桜木 2-15-6 あたり 2-2F



コピーOK

障害者OK

学校教育OK

利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo